

# 総合人間科学 法 学

## 1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在
教授	1 人
准教授	0 人
講師（うち病院籍）	0 人（0 人）
助教（うち病院籍）	0 人（0 人）
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人
医員	0 人
研修医	0 人
特任研究員	0 人
大学院学生（うち他講座から）	0 人（0 人）
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技術職員（教務職員を含む）	0 人
その他（技術補佐員等）	0 人
合計	1 人

## 2 教員の異動状況

大磯 義一郎（教授）（H24.4～現職）

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	2.00
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編
そのインパクトファクターの合計	0.00
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数（うち邦文のもの）	2 編（2 編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	0.00

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Tsubokura M, Takita M, Matsumura T, Hara K, Tanimoto T, Kobayashi K, Hamaki T, Oiso G, Kami M, Okawada T, Tachiya H: Changes in metabolic profiles after the Great East Japan Earthquake, a retrospective observational study, BMC Public Health , 13, 267, 2013(IF 2.00)

インパクトファクターの小計 [2.00]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総説

(4) 著書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 大磯義一郎、加治一毅、山田奈美恵、「医療法学入門」、医学書院、2012年5月

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 神津仁編、「介護福祉経営士テキスト 医療を知る」、日本医療企画、2012年7月

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 24 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	0 件	(0 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表、総括

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	24 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	1 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

### (1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

### (2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表
  1. 2012 年 4 月、講演、「個人情報保護法」 於帝京大学附属病院
  2. 2012 年 6 月、講演、埼玉県保険医協会第 38 回定期総会記念講演、「医療現場における必要な法律知識」 於浦和ワシントンホテル
  3. 2012 年 7 月、講演、「終末期医療における法的問題」 於明治大学
  4. 2012 年 8 月、講演、「人工妊娠中絶における法的問題」 J I M S A サマーキャンプ
  5. 2012 年 9 月、講演、関東信越指導監査対策担当者会議記念講演、「法体系の中での個別指導対策」 於市川グランドホテル
  6. 2012 年 9 月、講演、Next Generation Specialist Conference in Sapporo、「糖尿病領域の医療裁判に関して」 於京王プラザホテル札幌
  7. 2012 年 9 月、講演、第三回医療法学シンポジウム、「臨床研究、治験薬に係る補償制度」 於帝京大学
  8. 2012 年 9 月、講演、医療再生フォーラム 21 第 3 回大会 看護と医療再生～特定看護師は医療をどう変えるのか？～、「特定看護師に関する法律について」 於主婦会館エフプラザ
  9. 2012 年 10 月、講演、第 55 回日本医科大学静岡県支部総会、「医療現場において必要な法律知識」 於ホテルクラウンパレス浜松
  10. 2012 年 10 月、講演、神奈川県保険医協会 医療問題研究会、「医療者の人権～法と倫理の相違～」 於神奈川県保険医協会
  11. 2012 年 10 月、講演、「医療に関する法的問題—個人情報保護法—」 於帝京大学

12. 2012年10月、講演、広島県保険医協会 法律問題学習会、「医療現場における必要な法律知識」 於ホテルJALシティ広島
  13. 2012年11月、講演、医薬品等研究会、「医薬品上市までの法律～イレッサ訴訟を読み解く～」 於文京シビックセンター
  14. 2012年11月、講演、現場からの医療改革推進協議会、「医療事故調&産科無過失補償」 於東京大学医科学研究所
  15. 2012年11月、講演、医師養成大学院（メディカルスクール）を考える、「ロースクールの問題点／メディカルスクールの法的な壁」 於東京大学
  16. 2012年11月、講演、キャリアブレイン、「意外と知らない！？病院運営のための法律基礎セミナー～行政指導編～」 於キャリアブレイン東京本社
  17. 2012年12月、講演、全国医師連盟 第1回医療事故調シンポジウム、「医療者の人権保障を踏まえた医療安全のための医療事故調査制度と無過失補償制度の検討」 於主婦会館プラザエフ
  18. 2012年12月、講演、静岡県医師会医事紛争防止研修会、「医療訴訟の実際とその対策」 於オークラアクトシティホテル浜松
  19. 2013年1月、浜松医科大学医療安全講習会、「インフォームドコンセントの考え方～基礎編～」 於浜松医科大学
  20. 2013年1月、浜松医科大学個人情報保護講習会、「国立大学法人職員における個人情報保護」 於浜松医科大学
  21. 2013年2月 第2回医師養成大学院（メディカルスクール）シンポジウム、「医学部と法科大学院の比較論～授業、教員採用、資格試験など～」 於東京大学
  22. 2013年2月、講演、「コミュニケーションと法律」 於日本医科大学
  23. 2013年3月、講演、「消化器疾患と医療裁判」 於東京地方裁判所
  24. 2013年3月、班会議、「ケアサイクルにおける法的課題」 於日本医科大学多摩永山病院
- 4) 座長をした学会名
- (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割
- 日本精神神経学科情報管理委員会監事

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

- (1) 国内の英文雑誌等の編集
- (2) 外国の学術雑誌の編集
- (3) 国内外の英文雑誌のレフリー

## 9 共同研究の実施状況

	平成 24 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

- (1) 国際共同研究
- (2) 国内共同研究
- (3) 学内共同研究

## 10 産学共同研究

	平成 24 年度
産学共同研究	0 件

## 11 受賞

- (1) 国際的な授賞
- (2) 外国からの授与
- (3) 国内での授賞

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

### 13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

1. 医療水準：未熟児網膜症事件, CareNet Apr.2012
2. 医師法からみる医薬分業、薬剤師との関係, CB ニュース Apr.
3. 相当程度の可能性：治療と患者の死亡, CareNet Jun.2012
4. 患者と会わず大丈夫？遠隔医療、医師法では, CB ニュース Jun.2012
5. 医療ミスの刑事事件化進む？検察審査会問題, CB ニュース Jun.2012
6. 期待権：薄氷上の医療従事者, CareNet Jul.2012
7. 検証・医師法 21 条（上）広尾事件を解剖, CB ニュース Jul.2012
8. 損害の評価、素因減額：医師の責任を金銭にすると？, CareNet Aug.2012
9. 検証・医師法 21 条（下）広尾事件の爪あと, CB ニュース Aug.2012
10. 過失相殺：患者の過失はどこまで相殺できるか？, CareNet Sep.2012
11. 療養指導で医師法の落とし穴にはまらぬ為に, CB ニュース Sep.2012
12. 無過失補償は「医療側から行動を」, CB ニュース Oct.2012
13. 特定看護師は医療をどう変える？, CB ニュース Oct.2012
14. わが国の医療関連無過失補償制度を概観する～その運用と問題点について～, CareNet Oct.2012
15. 説明義務その 2：説明するのは主治医？執刀医？, CareNet Nov.2012
16. メディカルスクール開設前に需給予測を, CB ニュース Nov.2012
17. 個別指導は受ける義務はあるが、従う義務はない, CB ニュース Nov.2012

18. 医師なりすまし防ぐには？医師届出を考える, CB ニュース Nov.2012
19. 医療事故調査の制度設計を議論, CB ニュース Dec.2012
20. 説明義務その3：「説明義務の客体」癌の告知は誰まですべき！？, CareNet Dec.2012
21. 21 条解釈にも変化 医師法解釈 1 年の動き, CB ニュース Dec. 2012
22. 療養指導義務：「何かあったら受診ください」ではダメ！どうする患者指導！！, CareNet Jan.2013
23. 現場が知るべき医療法の基本を読み解く, CB ニュース Jan. 2013
24. 転医義務：「妊婦たらい回し事件」から考える周産期救急体制とは！, CareNet Feb.2013
25. 医療機関を開くとき（上）法律の要点, CB ニュース Feb.2013
26. 医療機関を開くとき（下）株式会社との違い, CB ニュース Feb.2013
27. 添付文書 その1：「添付文書」の解釈、司法と臨床現場の大きな乖離！, CareNet Mar.2013
28. どうなる医療計画 歴史的変遷と今後, CB ニュース Mar.2013

#### 14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

#### 15 新聞, 雑誌等による報道

1. 応召義務には罰則なし, 埼玉保険医新聞, Jul.2012
2. 無過失補償制度を考える, Doctor`s Career Jul.2012
3. 医療現場における必要な法知識, 埼玉保険医新聞 Sep.5,2012
4. 医師の人権と法を考える, 日本歯科新聞 Oct.23,2012
5. 個別指導の法的問題点を深める, 埼玉保険医新聞 Nov.5,2012
6. 産科補償こそ、「第三者機関」で検証を, m3.com Nov.2012
7. 医療者を守るのは医療者 「医療の自治」の議論を（前編）, 神奈川県保険医新聞 Nov.25,2012
8. 医療者を守るのは医療者 「医療の自治」の議論を（後編）, 神奈川県保険医新聞 Dec.5,2012
9. クレーム対応 今どきの法解釈と国際事情, アポロニア 21 Dec.2012
10. 人、日本医事新報 No.4639 Mar.2013